

非常災害時の対応について

本校では、大地震や風水害等の災害が発生、及び発生が予想される場合について、次のような対応をとります。

災害	状況		対応
大規模地震	大地震発生！ 市域のいずれかで、震度5強以上の地震が観測された場合は、授業を打ち切ります。	授業中	① 学校に留め置き、 <u>引き渡し</u> を行います。 ② 地区連絡網やメール配信で連絡を試みますが、 <u>連絡がなくても、学校へ迎え</u> に来てください。 ③ 迎えが来るまで、学校で保護します。
		その他	※校外学習時は安全確保を優先し、状況に応じて対応します。連絡困難の可能性があります。 ※登下校中は、家または学校に向かうようにし、学校にいる児童は、授業中と同じ対応をします。落ち着いたら、安否確認をすることがあります。
	大規模地震警戒宣言の発令！ ○ 警戒宣言が出ると授業を打ち切ります。交通機関の停止などが考えられます。	授業中	① 学校に留め置きます。学校で <u>引き渡し</u> を行います。 ② 地区連絡網とメール配信で連絡が可能と思われませんが、 <u>学校へ迎え</u> に来てください。 ② 迎えが来るまで、学校で保護します。
		その他	※校外学習時は、大地震発生時に準じます。 ※登校中は、学校に登校後に授業中と同様の対応をします。下校時は、帰宅を優先しますが、学校で保護している場合があります。
風水害等	特別警報（大雨、暴風、高潮、波浪、暴風雪、大雪）・暴風警報・大雪警報・暴風雪警報・降灰予報発令！ ○ 休校になります。大雨や洪水など、その他の警報ではありません。	登校前	午前6時の時点 で 特別警報 か 暴風警報 か 大雪警報 か 暴風雪警報 か 降灰予報 が出ている場合は、 休校 です。学校からの連絡はありません。上の警報以外で家庭で安全を判断して休む場合は、欠席扱いとはしませんが学校に連絡をお願いします。
		授業中	授業を打ち切り、状況が悪い場合は、 学校での<u>引き渡し</u> を行いますので、 <u>学校へ迎え</u> に来てください。安全を確保できる状況であれば、学校で判断し、地区連絡網とメール配信で連絡します。学校職員が引率して一斉に <u>下校</u> をすることがあります。

特別警報とは・・・

気象庁はこれまで、大雨、地震、津波、高潮などにより重大な災害が起こるおそれがある時に、警報を呼びかけていました。これに加え、今後はこの警報の発表基準をはるかに超える豪雨や大津波、噴火等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合、新たに「特別警報」を発表し、最大限の警戒を呼び掛けます。

特別警報が出た場合、お住まいの地域は数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。周囲の状況や市町村から発表される避難指示避難勧告などの情報に留意し、ただちに命を守るための行動をとってください。

降灰予報とは・・・

国内火山において、噴煙の高さが 3000m 以上、あるいは噴火警戒レベルが 3 相当以上の噴火など、一定規模以上の噴火が発生した場合に、噴火発生から概ね 6 時間先までに火山灰が降ると予想される地域を発表します。

(気象庁ホームページより抜粋)

Jアラート（全国瞬時警報システム）発令の場合

登校前

警報が出ている間、登校を見合わせ、建物内で安全を確保します。

授業中

状況に応じて、メール配信を行い、引き取りを行います。警報が解除された場合は、教職員等が付き添い、通常下校とします。